

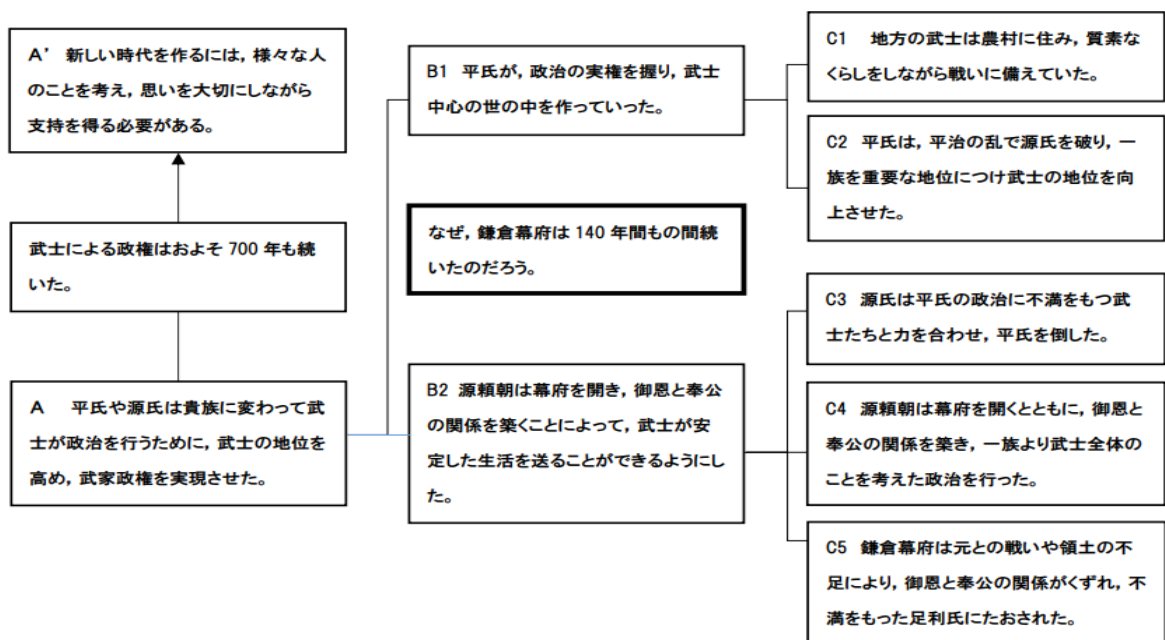


# 武士の時代のはじまり



本単元は、平安時代の末期から鎌倉時代にかけて力をつけた平氏と源氏を取り上げました。平氏と源氏の違いに着目できるように単元を進めていきました。「問題をつかむ過程」では平氏を扱い、「力のつけ方」「政治の仕組み」「ほろび方」に視点を置いて調べていき「問題を解決する過程」では、3点について追究し、学習問題を解決していきました。「働きかける過程」では、「武士中心の時代が700年も続いた」事実から、平氏や源氏の代表人物の評価をすることで、新しい時代をつくるには、様々な人のことを考え、思いを大切にしながら支持を得ていく必要があることを確認しました。

## 知識の構造図



## 児童の振り返り

### 平清盛・源頼朝・北条時宗の政治を評価すると

どの3人もプラスとマイナスの部分があったけれど、それぞれ日本や今にかかせない存在だった。武士の政治を初めてつくったのが平氏で、そこから源氏・北条氏と、どの人も今の日本の発展にかかせない存在だった。

もし誰か一人でも欠けていたら、この時代は成り立っていなかったのかなと思った。今の時代も、同じようなことが増えるので、一人一人を大切にしていかなければならないと思った。人は良い面もあれば悪い面もあるので、それを活かしていくことが大切だと思った。

この鎌倉時代に活躍した3人は、3人とも必要だった。また、一人一人に自分の考えがあり、その考えで政治を進めていっていたので、ちがいはあってよいと思う。私だったら、この3人の中の3人全員に少しずつ協力すると思う。